

新・21世紀の

知っているようで知らない差別と人権の話



監修 江原由美子

東京都立大学
名誉教授

編集 発行

(一社)神奈川人権センター

発売 日本評論社

持続可能な
共生社会へ

「すべての人は、
一人ひとりが人であるということだけで
かけがえのない尊い大切な存在として、
守られなければならない」

(「はじめに」より)

私たちが推薦します。

阿部一司（公益社団法人北海道アイヌ協会理事／札幌アイヌ協会会長）

石山春平（ハンセン病療養所東日本退所者の会「あおはの会」代表）

伊波洋一（参議院議員）

上野千鶴子（社会学者／東京大学名誉教授）

落合恵子（作家／クレヨンハウス主宰）

金田賢一（朗読三昧／俳優）

辛淑玉（のりこえねっと共同代表）

鈴木治郎（神奈川県障害者自立生活支援センター理事長）

崔江以子（川崎市ふれあい館館長）

丸尾めぐみ（朗読三昧／音楽家）

「人権」とは誰もが生まれながらに持ち、
人が人らしく生きていくために
かけがえのないもの。

神奈川人権センターが編集・発行を担った

「新・21世紀の人権

——知っているようで知らない差別と人権の話」が出版されます。

前作「21世紀の人権」の出版から10年が経過し、

差別や人権問題の様相も大きく変化しています。

本書では現代社会の様々な人権問題について、

52名の専門家（研究者、弁護士、現場実践者など）が執筆しています。

コロナ禍においてさらに多くの人権問題が報じられている状況で、

差別と人権について気にはなっているけれど

「知っているようで知らない」人もいるのではないのでしょうか？

「人権」について学ぶことは持続可能な共生社会を築く礎です。

ぜひこの機会にご一読ください。

*目次

- 第1章 21世紀の人権
- 第2章 被差別部落と人権
- 第3章 アイヌ民族と人権
- 第4章 沖縄の人々と人権
- 第5章 外国につながる人々と人権
- 第6章 障害者と人権
- 第7章 男女平等と人権
- 第8章 性的少数者と人権
- 第9章 子どもと人権
- 第10章 高齢者と人権
- 第11章 疾病・患者と人権
- 第12章 平和と人権
- 第13章 労働と人権
- 第14章 環境と人権
- 第15章 表現の自由と人権
- 第16章 企業と人権
- 第17章 地方自治と人権

新・21世紀の人権

知っているようで知らない差別と人権の話

監修：江原由美子／編集・発行：（一社）神奈川人権センター／発売：日本評論社／B5判 256ページ／価格：2,530円（税込み）

発売日：2021年8月15日／お問い合わせ：（一社）神奈川人権センター／Tel:045-271-1455／Mail:jinken@ro.bekkoame.ne.jp

キリトリ

「新・21世紀の人権 —— 知っているようで知らない差別と人権の話」を申し込みます

（一社）神奈川人権センター／Fax:045-761-3389／Mail:jinken@ro.bekkoame.ne.jp／送料:1冊170円、2冊以上は実費負担。

名 前（団体名）	購入希望	冊
住 所	備 考	
連絡先		